

～つめをきろう!～

つめは、ゆびさきを まもる たいせつな ものだよ。
のびすぎや きりすぎに きを つけよう!!

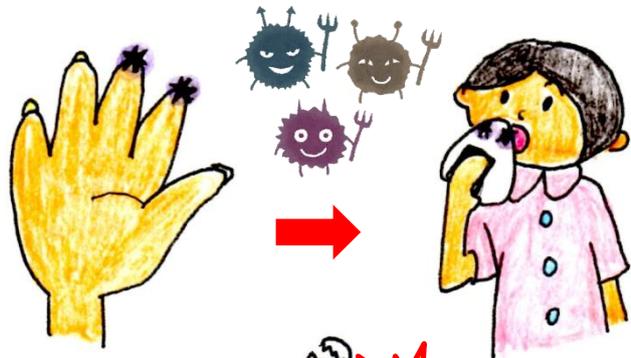


つめが ながく のびていると・・・



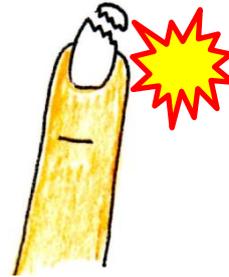
① ばいきんが つくよ

つめの うらがわに ばいきんが つくよ。
てで ものを たべた ときに
その ばいきんが くちの なかに
はいつて しまうよ。
つめを かむのも やめよう。



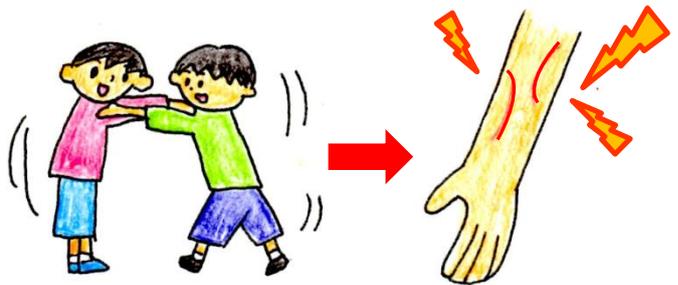
② つめが おれるよ

てで つかんだ ものに つめが
ひっかかって、おれてしまう ことが
あるよ。



③ けがを させてしまうよ

あそんでいる ときに きづかずに、
ともだちを ひっかいて けがを
させてしまう ことが あるよ。



つめを みじかく きりすぎると・・・

まきづめに なってしまうよ

つめのはしが まるまって、
ゆびに くいこむ ことを
「まきづめ」と いうよ。
あるくと いたく
なってしまうよ。



つめのきりかた

手のゆびのつめ



つめのしろい ぶんぶんを
すこし のこして、
まるく きるよ。



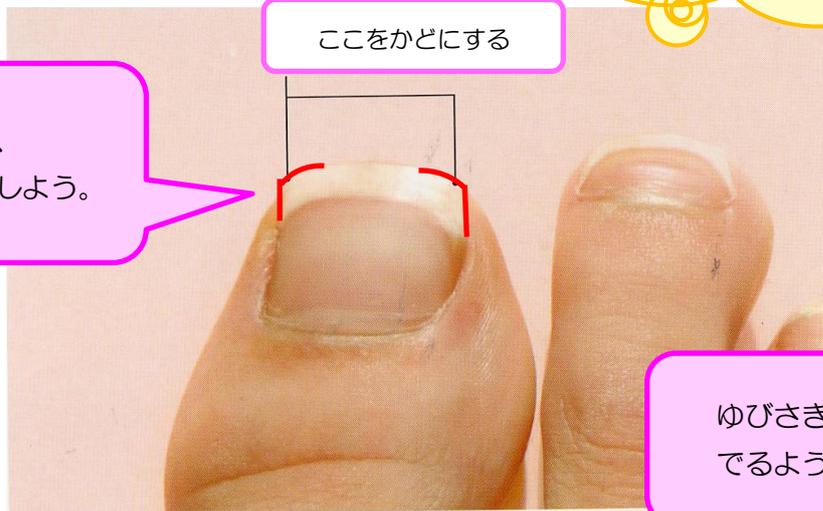
つめの ながさは、
ゆびさきと おなじくらいに
するよ。

『どようびに つめを
きる』など、つめを いつ
きるか きめておくと
いいね。

あしのゆびのつめ



つめのはしは、
かどに なるように しよう。



ここをかどにする

ゆびさきより、すこし
でるように きるよ。

つめを きって
あんぜんに すごそう!

